

平成23～25年度に行政評価(外部評価)を実施した55事業のうち、継続判定の12事業及び令和3年度までに取り組みを実施した39事業を除く計4事業について、令和4年度予算への反映状況及び取り組みの内容をとりまとめました。

事業名	休養温泉ホーム松ケ島			局名	健康福祉局	評価年度	23
判定結果	(廃止を含む) 見直し	判定結果の 内訳及び 市民判定員 の主な意見	廃止	8	将来廃止／できるだけ早く廃止／民間で		
			見直し	8	利用料の見直し		
			継続	1	利用者の満足度が高い		
取組方針	【判定結果の趣旨に沿った取組】 社会福祉審議会における「現行の設備のままでは高齢者や障害者にとって十分ではない状況や、設備の老朽化の状況、名古屋市における公共施設の維持管理・更新の考え方を踏まえ、一定の期間を置いた上での施設の廃止はやむをえない」との意見具申を踏まえ、当面、指定管理者制度による運営を継続するが、主要な設備の多くが耐用年数を経過しており、リニューアル改修には多額の経費を要するため、設備の老朽化の状況を見極めながら廃止することとする。						
取組内容	令和3年6月定例会において、「名古屋市休養温泉ホーム松ケ島条例の廃止」について議決され、令和3年度末にて施設を廃止する。令和4年度は、施設廃止後の事務処理を進める。						
見直し額 (一般財源)	△229,307(△189,849)						

事業名	敬老パスの交付			局名	健康福祉局	評価年度	23
判定結果	見直し	判定結果の内訳及び市民判定員の主な意見	廃止	1	利用している人数・割合が低い／高齢者イコール弱者ではない		
			見直し	14	負担金の引き上げ・見直し／利用限度額・上限の設定／年齢の引き上げ		
			継続	2	高齢者のいきがよいである／実施をしながら効果を見守りたい		
取組方針	【判定結果の趣旨に沿った取組】 敬老パス事業費の積算方法を見直すことにより経費の縮減を図るとともに、暫定上限額を設定し、その額を超えると見込まれる場合には新たな見直しを行う。引き続き、持続可能な制度構築に向けた検討を進める。						
取組内容	より使い勝手が良く、公平で持続可能な制度とするため、令和4年2月より対象交通拡大と利用上限回数設定の制度変更を実施した。敬老パス制度の見直しの目的が達成されているか、制度変更後の影響調査を実施する。						
見直し額 (一般財源)	—						

[illegible]

事業名	学校体育センター	局名	教育委員会	評価年度	25
判定結果	見直し	判定結果の内訳及び 市民判定員の 主な意見	廃止・撤退	5	廃止5
			民営化	1	民営化1
			見直し	22	市の関与の縮小3 料金の引き上げ19
			継続	3	経費の節減2 収入の増加1
取組方針	【判定結果の趣旨に沿った取組】 収支状況の改善目標を25年度中に設定し、使用料収入の増加や経費節減により改善目標の達成をめざす。 利用者について拡大する余地があることから、有料利用者の拡大等により使用料収入額を増額するとともに、管理体制等の見直しにより、委託経費を削減しつつ、収支の状況を確認しながら、使用料のあり方について検討する。				
取組内容	令和3年度は、有料利用者の利便性を高め、使用料収入を増加させるために、利用受付期間や使用料区分の拡充による施設利用を開始した。令和4年度以降については、引き続き、施設の有効活用の促進を図るとともに、「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」を踏まえた当該施設の今後のあり方についても検討を進める。				
見直し額 (一般財源)	△1,778(△1,778)				